

東京都主催

ボランティアクレジット活用ウェビナー

IGNITURE

TOKYO GAS

企業の脱炭素化に向けた ボランティアカーボンクレジットの可能性

2026年3月5日

東京ガス株式会社 ソリューション事業推進部

カーボンオフセット事業G

マーケティングチームリーダー 大川 里枝

東京ガスにおけるボランタリークレジットの活用

自社のLNG基地における作業車両等の使用に伴うCO2排出に対し、クレジットを活用

2025年度の自社のLNG基地における作業車両等の使用に伴うCO2排出量を算出し、
東京都から購入したカーボンクレジットをカーボンオフセットの一部に活用



プロジェクト種別
ボランタリークレジット（REDD＋森林保護）
購入量 200t-CO2

また、自社のLNG基地や本社ビルにおいては、当社の商品でもあるボランタリークレジットでオフセットした都市ガスを活用し、クレジットの利用によるオフセットを進めています

東京ガスのカーボンクレジットビジネスの取組み

東京ガスは脱炭素化したエネルギーの安定供給と未来を先取りしたソリューションの提供により「未来をつむぐエネルギーになる。」ことを目指しています

第1の創業

用途拡大と規模の拡大

1885年～
文明開化の暮らしに光を灯す
東京ガス創立



創業者 渋沢栄一
©東京ガス
ガスミュージアム

第2の創業

LNGバリューチェーンの進化 環境共創のエコシステム構築

1969年～
経済成長期の
エネルギー需要増と
環境問題の解決
日本初の
液化天然ガス輸入



LNGタンカー第1船
「ボアラ・アラスカ号」

2019年
経営ビジョンにてCO₂ネット・ゼロを宣言

第3の創業

脱炭素化による地球環境への貢献
デジタル化による収益機会の拡大
新たなエコシステムの構築

2023年～
お客さまの豊かな未来を実現するソリューションの展開
ソリューションブランド「IGNITURE」立ち上げ

IGNITURE
IGNITE YOUR FUTURE

Compass2030

エネルギーとソリューションを
暮らし、都市、地球の未来に

2025年

- CO₂削減貢献量 …… 1,200 万トン
- 再エネ電源取扱量 …… 220 万kW

Compass Transformation 23-25
ビジネスモデルを変革する

LNGバリューチェーンの進化

規模拡大(エリア・用途拡大)

未来をつむぐエネルギーになる。

ソリューションの
本格展開

IGNITURE

脱炭素
最適化
レジリエンス

脱炭素化した
エネルギーの
安定供給

2050年 ●CO₂ネット・ゼロ

2040年

- CO₂排出量 6割減*
- 国内供給ガス・電気のカーボンニュートラル化率 5割

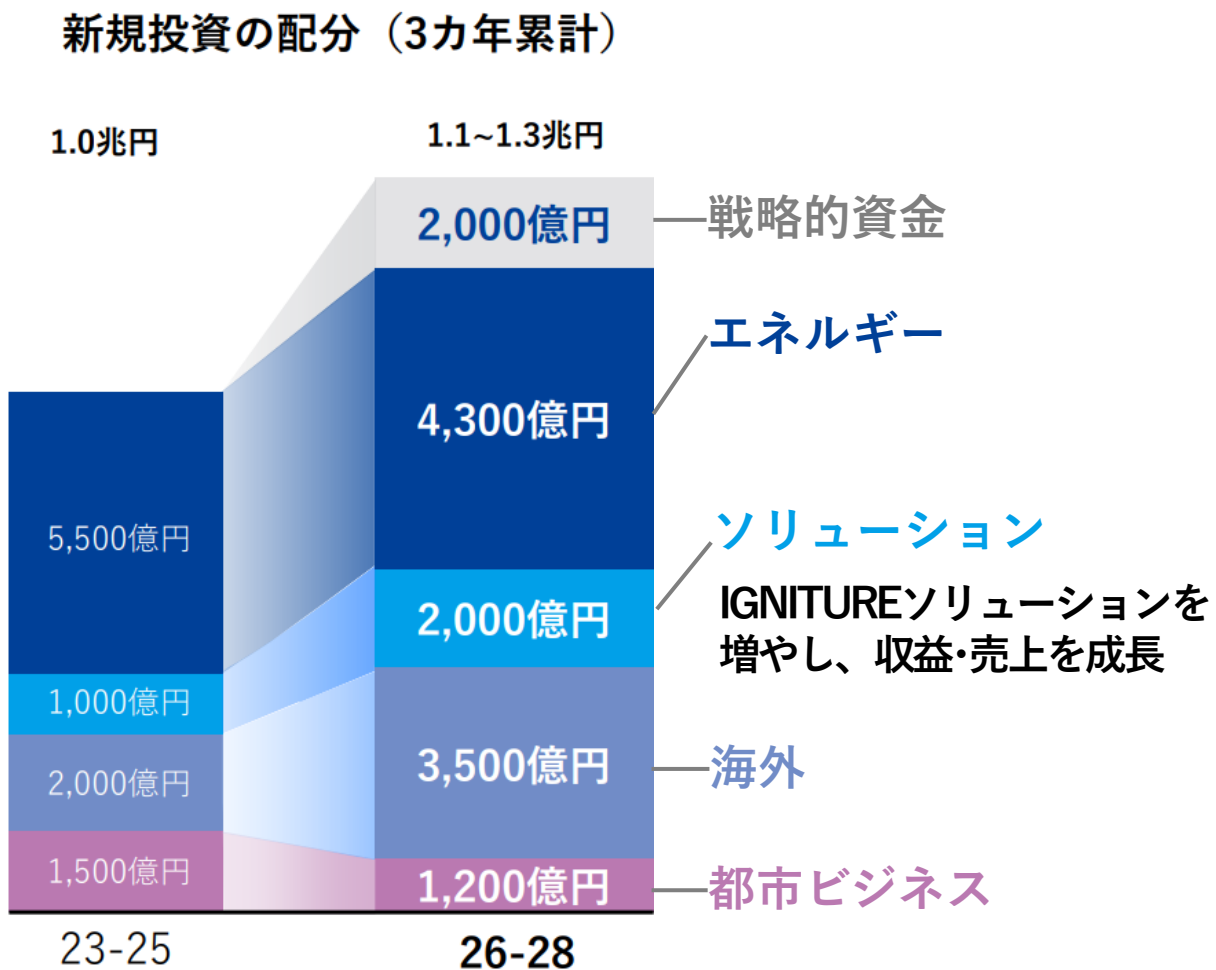
●ROE …… 10%以上

2030年

- CO₂削減貢献量 …… 1,700 万トン
- 再エネ電源取扱量 …… 600 万kW
- お客さまアカウント数 …… 2,000 万件

※国内へのエネルギー供給(ガス・電力)に関連する、上流を含むサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を、CO₂排出量に換算した値。削減率は2022年度比。

2023年11月に「脱炭素」「最適化」「レジリエンス」の価値を提供する ソリューション事業ブランドIGNITUREを立ち上げました

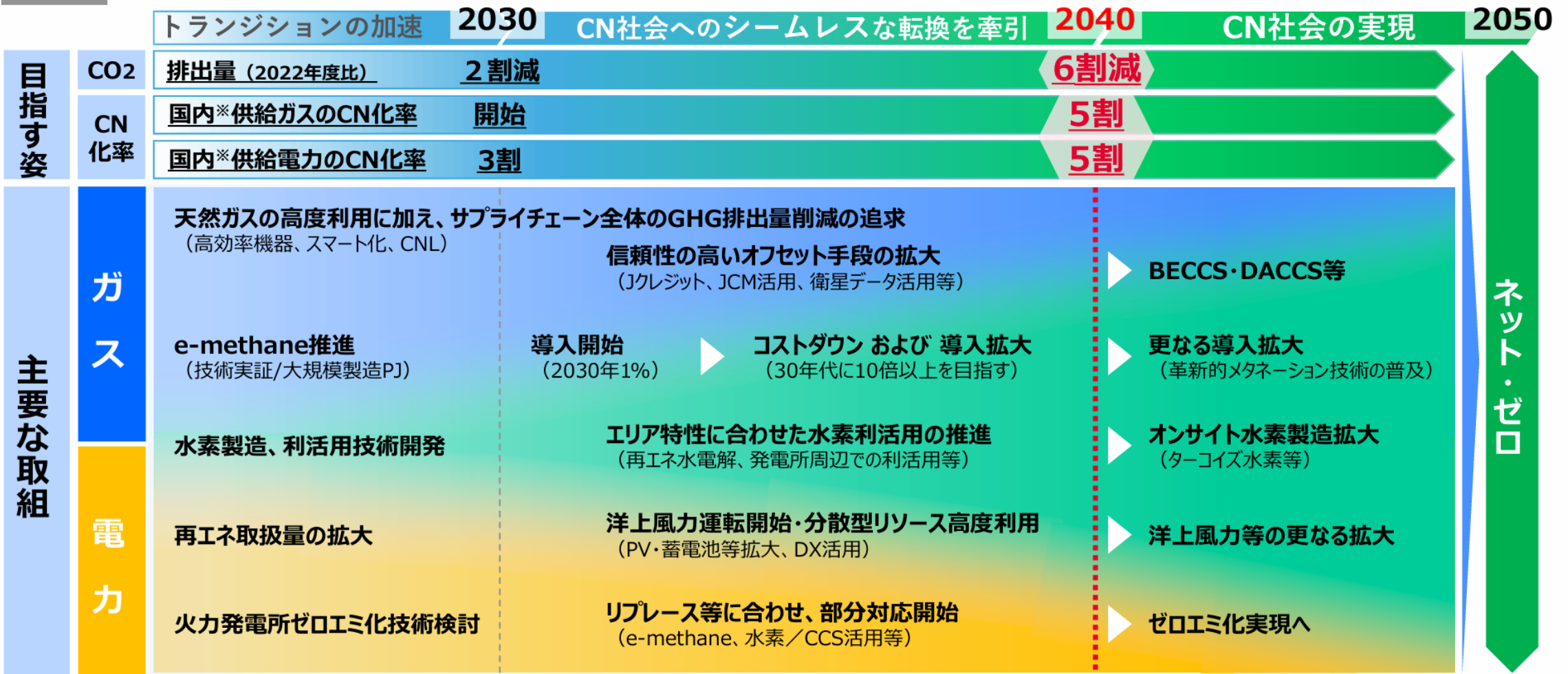


ソリューション事業を、2030年にガス・電力に次ぐ第三の事業の柱へ

東京ガスの「カーボンニュートラルロードマップ」（2024年3月公表）

ポイント

・20年代はこれまでに推進してきた**天然ガスの高度利用**と並行し、ガス・電力の脱炭素化の準備を進め、**30年代は脱炭素化技術を実装・拡大**して、**2040年時点でCO2排出量を6割減、ガス・電力共にCN化率5割**を、その後比率を高め、2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。



カーボנקレジット事業を開始した背景

未来のための、今日のガス。
カーボンオフセット都市ガス。



東京ガスグループは、エネルギー企業として責任ある脱炭素社会への移行（トランジション）を「**天然ガスによる低炭素化**」と「**ガス・電気の脱炭素化**」の両輪で進めていきます。

ガスの脱炭素化の手段

省エネ・燃料転換・スマートエネルギーネットワーク等の
天然ガスの高度利用によるCO₂排出量の削減

カーボנקレジットでオフセットされた
カーボンオフセット都市ガスの提供



カーボנקレジットの意義

必要な場所に、必要な資金を循環させる仕組みをつくることができるため、**広く世界の社会課題※にアプローチ**できる1つの手段です。カーボンオフセット都市ガスの利用が広がることで、持続可能な社会への転換を進めることができます。

※CO₂の排出抑制や、生物多様性、新興国における人権の尊重など、SDGsの目標達成にも貢献

カーボンオフセットとは？

カーボン・オフセットとは、市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、**自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれらを削減する努力を行う**とともに、**削減が困難な部分の排出量についてカーボンクレジット等によりその排出量の全部または一部を埋め合わせる**こと。



出典 我が国におけるカーボン・オフセット のあり方について(指針)第4版 <https://www.env.go.jp/content/000209286.pdf>

これまでの軌跡①

現在、カーボンオフセット都市ガスの供給先は、26年1月末時点で**212社、394拠点**まで拡大中。

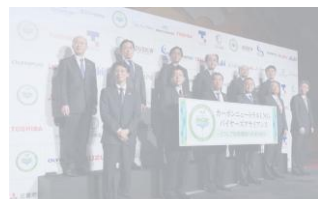
カーボנקレジット償却量では、国内のみならず国外においても有数のバイヤーとして立ち位置を確立。

カーボנקレジット事業への挑戦

国内初カーボンニュートラルLNG(旧名称)を導入

国内初カーボンオフセット都市ガスを供給

丸の内熱供給様へカーボンオフセット都市ガスの供給を開始



更なる普及拡大・評価向上への活動

カーボンオフセット都市ガスバイヤーズアライアンスの設立

カーボンオフセット都市ガスを調達・供給する東京ガスと、購入する15社がカーボンオフセット都市ガスの普及拡大と、その利用価値向上を目的として設立



ニッポンの未来フォーラムへ参画

読売新聞様とNHK様が主催するフォーラムにてカーボンオフセット都市ガスの役割と意義、クレジットの信頼性・透明性確保の重要性、環境保全プロジェクト側の想いとお客様の取り組み等について、広く社会へ発信

多様化するお客様ニーズへの呼応

「ネイチャー・ベースド・カーボンファンド」への最大2,500万米ドルの出資

希少かつ信頼性の高い自然系クレジットの調達を目的としClimate Asset Management様が運営を手掛けるファンドへアジアで唯一の出資者として出資



東京2025世界陸上大会でのイベントオフセット

日本で行われる国際的なスポーツ大会においてボランティアクレジットを活用する初めての事例として、大会期間中の回避できない排出量に対しオフセットを実施予定

フィリピンでの民間JCM事業へ参画

森林分野以外で初めての方法論として期待される農業分野のAWDを用いたフィリピンでの民間JCMの取り組みに、農業分野におけるグローバルな知見を持つクボタ様、クレジットプロジェクト実施における知見を持つクレアトゥラ様と共に参画

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

クレジットの品質への追求

カーボンオフセット都市ガスの第三者検証取得

カーボンオフセット都市ガスプランの運用状況についてJQA様より、第三者検証報告書を受領



日本ガス協会カーボンオフセット都市ガスガイドライン策定へ参画

LNG輸入者団体(GIIGNL)による「MRV and GHG Neutral LNGフレームワーク」策定へ参画

自社の独自基準の策定



カーボンオフセット都市ガスのメニュー化支援
クレジット単体販売など販売スキームを拡充



カーボンオフセット
都市ガス
お客様数

212

カーボンオフセット
都市ガス
契約拠点数

394

(2026年1月末時点)

これまでの軌跡②

- ・カーボンオフセット都市ガスバイヤーズアライアンスは、カーボンオフセット都市ガスを供給する東京ガスと採用いただいている法人・自治体様で結成している**年会費無料のアライアンス**。
- ・加盟企業は、**勉強会や对外発信への参加、ニュースレターを通じた最新情報の収集等**が可能。

バイヤーズアライアンスの活動内容

- カーボンクレジットに関する最新情報をお届けするニュースレターの配信（毎月）
- カーボンクレジットに関する勉強会の開催（毎年複数回）
- 加盟企業様のPRやカーボンオフセット都市ガスの評価向上を目的とした对外発信



2022/12/11
読売新聞・NHKエンタープライズ主催の「ニッポンの未来フォーラム」に出演！
加盟企業さまにもご出演頂きました。
（株式会社ルミネさま、堺化学工業株式会社さま）



2023/10/26
インドネシアでカーボンクレジットを創出しているプロジェクトのCEOをお呼びした講演会を開催！
加盟企業間でのネットワーキングも行いました。

バイヤーズアライアンス加盟企業

2026年1月末時点で120社超の企業が加盟。

■ 製造業

アサヒグループホールディングス株式会社、いすゞ自動車株式会社、オリンパス株式会社、堺化学工業株式会社、株式会社ダスキン、株式会社東芝、株式会社ヤクルト本社、株式会社T & K T O K A、三芳合金工業株式会社、アイダエンジニアリング株式会社、田島ルーフィング株式会社、株式会社細川洋行、大鵬薬品工業株式会社、日本ジェネリック株式会社、小島化学薬品株式会社、キッコーマン株式会社、理研ビタミン株式会社、第一熱処理工業株式会社、サントリーモルティング株式会社、三菱化工機株式会社、荒川化学工業株式会社、株式会社常磐植物化学研究所、日本ゼオン株式会社、日鉄建材株式会社、H A R I O 株式会社、東京アライドコーヒーローズ株式会社、東京製線株式会社、マクセル株式会社、株式会社カナエ、クリナップ株式会社、東京ガスケミカル株式会社、株式会社ホンダテクノフォート、株式会社NIPPO、大成ロテック株式会社、横浜アスコン共同企業体、戸田アスコン株式会社、大宮アスコン、横浜ベイアスコン株式会社、砂町アスコン株式会社、株式会社佐藤渡辺、株式会社ダイセキM C R、プライムデリカ株式会社、福岡共同製餡株式会社、株式会社クレハ環境、森永乳業株式会社、日本精工株式会社、株式会社マルタイ、株式会社資生堂、日本金属株式会社

■ ホテル・商業施設・ビル等

株式会社ニュー・オータニ、丸の内熱供給株式会社、三井住友信託銀行株式会社、三菱地所株式会社、株式会社ルミネ、株式会社帝国ホテル、社会福祉法人ぱる、セントラルスポーツ株式会社、第一生命保険株式会社、飯野海運株式会社、東光電気工事株式会社、川本工業株式会社、株式会社西武リアルティソリューションズ、株式会社日建設計、清水建設株式会社、相鉄ホールディングス株式会社、有限会社左衛門、京王電鉄、京浜急行電鉄、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社ジョイフル本田

■ 学校法人

学校法人玉川学園、順天堂大学・順天堂医院、学校法人学習院、学校法人東海大学、学校法人早稲田大学、学校法人桜美林学園、学校法人明治大学、学校法人法政大学、学校法人慶應義塾、学校法人芝浦工業大学

■ 官公庁

秦野市、守谷市、昭島市、土浦市、国分寺市、小平市、袖ヶ浦市、藤沢市、品川区、狹山市、江東区

カーボンクレジットの購入には、目利き力が必要

・カーボンクレジットを購入する上での課題

国際的には**多数のクレジットが存在**し、質の低いクレジットも存在。質の低いクレジットの購入により、**レピュテーションリスクの恐れ**がある
そのため、**各種条件をクリアしたクレジットであるか**の見極めが必要である。

Ex.追加性（クレジットがなければ実施されなかった削減・吸収か）
リーケージ（プロジェクト以外で排出が増える副作用の有無）
永続性（一度削減・吸収したCO2が、将来にわたって大気中に戻らないか）
....

・解決策：「購入をサポートする機関の情報を活用する」、「代理店経由で購入する」

認証機関

プロジェクトが生み出す排出削減・吸収量を、**独立した立場で審査し、クレジットとして正式に認証**する組織

- ・ **Verra**（VCS：Verified Carbon Standard）
世界最大の発行量を誇る認証機関
- ・ **Gold Standard**（GS）
WWF とその他の国際 NGO によって設立されたスイスに本部を置く認証機関

クレジット格付け機関

認証機関が発行したクレジットの“質”を、独立した立場で評価し、透明性を高める（市場の信頼性を補完する存在）

- ・ **BeZero Carbon**
（英国発最大手格付け機関）
- ・ **Sylvera**（シルベラ）
（英国発のスタートアップ）

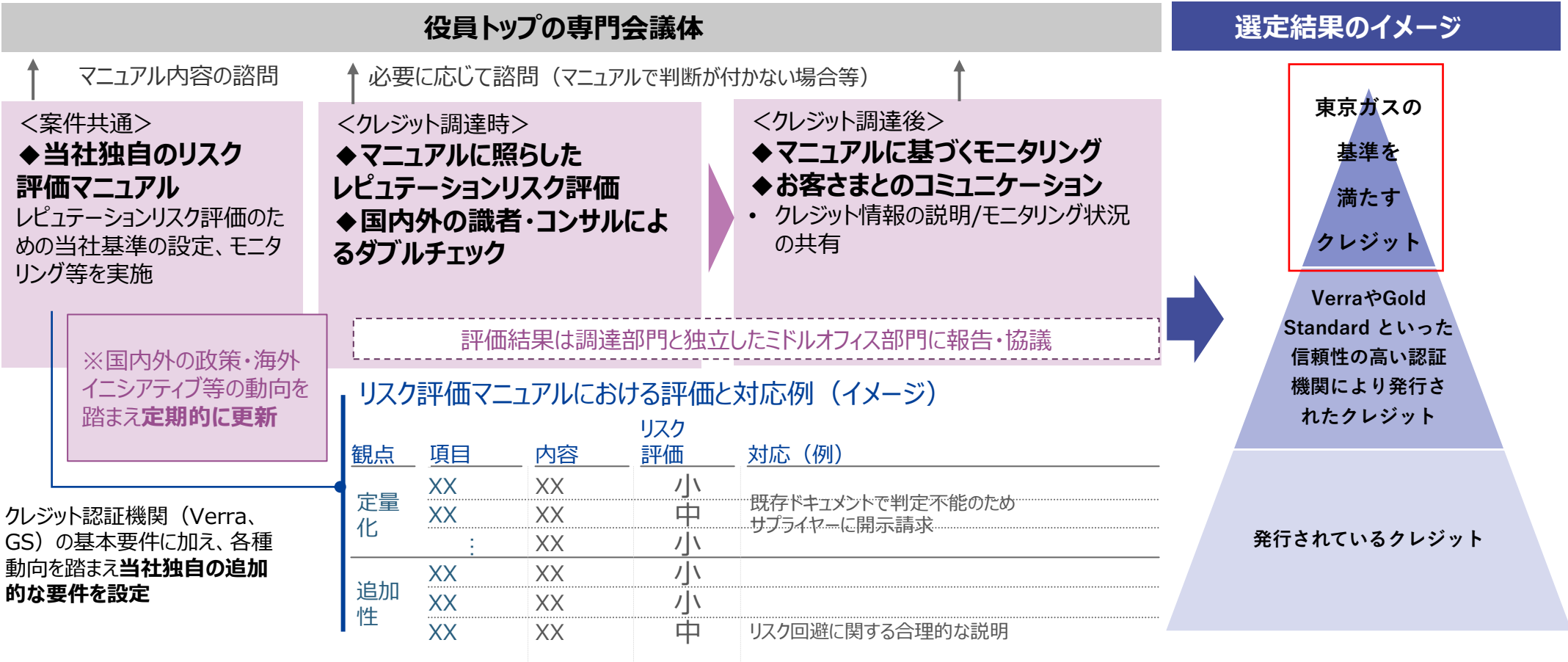
国内のクレジット販売代理店

東京都や身近な国内企業から購入

- ・ **東京都カーボンクレジットマーケット**
東京都カーボンクレジットマーケット
- ・ **東京ガス（TGES）**
 - ①都市ガスをオフセットして販売
 - ②クレジット単体でも販売

東京ガスの仕組み：信頼性の高いクレジットを調達・利用するために

- 信頼性の高いクレジットを調達・利用するための体制を整備。役員トップの専門会議体の設置や当社独自のリスク評価マニュアルの整備による、リスク管理に係るガバナンスを強化・推進。
- カーボンクレジットは方法論、案件共に多様であり、お客さまの御要望に沿ったクレジットや、真に社会全体の排出削減に寄与するクレジットを見極めて活用していくことが重要。



東京ガスのカーボנקレジットを活用した商材

都市ガスに合わせた
「カーボンオフセット都市ガス」として提供



地球環境貢献型

- CO2削減だけでなく、様々なSDGsへの貢献を通じてPR・ブランディングを実現
- グローバルにおいて、上位1%※に相当する信頼性の高い**ボランティアクレジット**を活用
※BeZero社、Sylvera社のデータを参考
- 導入条件を整理し、初期コストの調整が可能

※単体販売もあり



排出係数調整型

- 国内の排出量算定であるSHK制度上で、**調整後排出係数をゼロ**に
- **GX-ETSや都条例**といった規制においても対応が可能
- 限られた創出量であるJクレジットを**安定的に確保**することが可能

より野心的なオフセットを
希望される方はこちら↓



吸収除去系クレジット※

- SBTiでの活用が見込まれる
唯一のクレジット
- 脱炭素に先進的業界や企業
が活用し始めている
- 既に生じている排出量を減
らすのではなく、温室効果
ガスを大気中から吸収除去
する取組をクレジット化し
たもの

※ガス量に合わせた「カーボンオフセット都市ガス」としての販売についてはご相談させていただきます。

カーボンオフセット都市ガス（地球環境貢献型）を購入されたお客様の声



<田島ルーフィング株式会社>

当社は中期経営計画と紐づけたSDGsの重要課題の一つであるCO₂排出削減の活動において、2013年を基準年度として2030年にCO₂排出量を50%削減することを目標としております。
2024年度のCO₂排出量は、前年比からさらに削減され、Scope1、2の42.7%削減を達成しました。
そのような取り組みとして省エネや再エネ導入にとどまらず、複数拠点におけるカーボンオフセット都市ガスの契約も行うことで地球全体のCO₂削減活動への貢献も行っています。



<荒川化学工業株式会社>

当社のサステナビリティレポート2025では、2015年度比30%削減（SLB目標）から昨年50%削減に引き上げた2025年度のCO₂排出量の目標に対し、2024年度の実績では削減活動の26.7千トンのうちカーボンオフセット都市ガスによる9.6千トンのオフセットを行い、2015年度対比55.2%減となりました。
また、カーボンオフセット都市ガスバイヤーズアライアンスにも加盟しており、情報開示での模範解答などの学びを得ながら、カーボンニュートラル社会の共創に取り組んでいます。



<株式会社ニュー・オータニ>

ホテルニューオータニ(東京)では、業界に先駆けて、2020年からガスコージェネレーションシステムに対しカーボンオフセット都市ガスを導入し、5年間で約35,000tのCO₂削減を実現しています。
「Reconomy*」をテーマに、環境負荷低減、SDGsを意識し地球環境との調和を目指し、日本を代表するホテルとして、お客さまと環境どちらも大切にするホテルであり続けられるように環境への様々な取り組みを進めてまいります。
*ニュー・オータニが提唱する省エネルギーと資源リサイクルを実現するシステム（環境に調和した経済）

IGNITURE

IGNITE YOUR FUTURE

